



「情熱と知識を精錬し 輝く明日をつくる」と話す山本社長



山本工機株式会社

所在地 八潮市木曽根559-1
代表者 代表取締役 山本 成年 氏
事業内容 鋳造、切削加工の技術を用いた
社会インフラ設備備品の製造
資本金 1,000万円 従業員数 17名
TEL 048-996-2710
<https://www.yamamoto-kouki.com>



今年の1月に「第2回埼玉DX大賞」最優秀賞を受賞した同社の山本社長に話を伺いました。

■貴社の概要について、教えてください。

山本 1959年に東京都足立区千住元町で山本合金鋳造所を設立し、1974年に現在地に移転しました。1987年に現社名に変更し、1995年加工工場を増築しました。事業内容は、砂型鋳造、シェルモールド鋳造、切削加工、組み立て、検査です。製品寸法は50φから250φをメインとしています。

当社の強みは、鋳物工場と加工工場が隣接しており、砲金、真鍮、アルミの砂型鋳造から切削加工、組み立て、検査まで、スピーディーに一貫生産できることです。従来、お客様からの発注形態は、製造、加工、組み立ての各種工程を一つ一つの会社へ依頼され、工程ごとに管理されていたものが、当社は社内にて製造から納品まで一括にて対応が可能です。鋳造品の切削加工は自社製品だけでなく、他社の鋳造品も加工しています。多彩な加工技術を駆使し、難課題でも、最高品質の製品を提供しています。

■埼玉県の第2回埼玉DX大賞の最優秀賞を受賞されましたが、応募のきっかけ、内容を教えてください。

山本 応募のきっかけは、当社で使っている生産管理ソフトのメーカーから「主要モデル企業として発表してくれないか」と話がありました。また、「埼玉DX大賞にも推薦させていただけないか」と話があったので、参加しました。

これまで、非効率な生産計画・製造が常態化し、また、情報共有不足が原因で受注・生産状況が見えない状態でした。さらに、月100時間越えの時間外労働、休日出勤が続き、社員の働き方にも大きな影響を及ぼしていました。

そこで、QRコードによるタイムカード、生産管理システムの「TECHS」を導入し、作業工程の完了ごとにバーコードを読み取り、生産実績を記録。全社員がリアルタイムで生産状況を把握、共有できる仕組みを整えました。今では当社だけで使っているわけではなく、協力会社への注文も「TECHS」でバーコード管理している注文書で発注しています。また、翻訳機能のある「LINE

